

公 表 日

令和 4年 2月 1日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和3年度 松原・下笠ダム堆砂測量及び土砂対策検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当 九州地方整備局 筑後川ダム統合管理事務所長 中村 星剛 福岡県久留米市高野1-2-2
契約年月日	令和 4年 2月 1日
契約業者名	九州建設コンサルタント(株)
契約業者の住所	大分県大分市大字曲936-1
契約金額	37,697,000円(税込み)
予定価格	37,697,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	大分県日田市大山町西大山地先外
業種区分	測量
履行期間(自)	令和 4年 2月 2日
履行期間(至)	令和 4年 7月 8日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 : 令和3年度 松原・下笠ダム堆砂測量及び土砂対策検討業務
2. 履行場所 : 大分県日田市大山町西大山地先外
3. 契約の相手方 : 住所 : 大分県大分市大字曲936番地1
会社名 : 九州建設コンサルタント株式会社
電話 : 097-569-9595
4. 契約適用法令 : 会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条
の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は令和3年度の堆砂量、堆砂形状を把握するため、松原・下笠ダム貯水池内及び貯砂ダム内をマルチビーム測量、横断測量で調査・解析し、既往の堆砂状況等と併せ堆積土砂対策の検討を行う業務である。

2) 業務の内容

河川定期横断測量（間接水準（山地））	112本
河川定期横断測量（複写）	50断面
マルチビーム測深	3.39km ²
データ解析・検討	1式
堆砂状況の把握	1式
堆積土砂対策検討	1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低47者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を26者が入手（ダウンロード）し、5者から参加表明書が提出され、5者が参加資格を有していた。

参加資格を有する5者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の業務理解度において目的・条件を明確にしたうえで、マルチビーム測量、横断測量で調査・解析し、既往の堆砂状況等と併せ堆積土砂対策の検討に関する実施方針が記載されていること、及び評価テーマの「松原ダム及び下笠ダムの堆砂対策の検討において留意する事項について」に対する技術提案で、的確性、実現性において、総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

筑後川ダム統合管理事務所 管理課長